

事業区分
金銭給付

平成27年度 事務事業評価シート

事務事業名	消防団(3団体)助成				所管	総務部		
						危機管理課		
事務事業の概要	事業の開始・終了年度		[事業開始]	昭和 3 9 年度	[終了予定]	- 年度		
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	東京都台東区消防団補助金交付要綱				
	事業対象	消防団(3団体)(消防団定員:上野280名、浅草130名、日本堤140名)						
	事業目的	団体への補助金の交付することにより、消防団の活動能力の向上を図るとともに、災害による被害軽減など区民の生命・身体・財産を守る						
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 水・火災・震災等の災害を防止し、これらの災害に因る被害の軽減する活動への助成 上野 3,496,000円、浅草 2,213,000円、日本堤 2,298,000円を助成 事業内容:防災訓練、装備・施設管理、団・会議・福祉共済運営等 						
	委託の有無	なし	委託内容					
	補助金の有無	なし						
事務事業の実績	種別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	24年度	25年度	26年度	
	活動指標	消防団数	団体	3	3	3	3	
	成果指標	消防団員数(3団体計、定数550人)	人	550	519	521	513	
	決算額 (単位:千円)				8,557	8,007	8,007	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			333	426	425	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			0	0	0	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			8,557	8,007	8,007	
		総経費			8,890	8,433	8,432	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0	
一般財源(区負担額)			8,890	8,433	8,432			
前回評価から改善した事項	なし							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	消防団は、震災時には消防署と連携して消防活動にあたり、平常時には地域住民等への訓練指導を行うなど、地域防災の中核として重要な役割を担っており、その必要性は高い。					
	効率性	3	助成金は、資機材の整備や訓練等、消防団の活動能力の向上に役立っている。					
	手段の適切性	4	消防団は、区民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、水・火災または震災等の災害を防止しこれらの災害に因る被害を軽減する活動をする助成は適切である。					
目的達成度	3	区民にとって身近な防災活動機関である消防団は、消防署の管轄ごとに組織されており、日ごろから地域の特性を活かした防災訓練等を行い、区民の生命財産の保護に役立っている。						
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
消防団は、震災時には消防署と連携して消防活動にあたり、平常時には地域住民等への訓練指導を行うなど、地域防災の中核として重要な役割を担っていることから、引続き、消防団への活動を支援していく。					維持			